

スイレンやハスから抽出したエキスを用いた『hasu 化粧水』誕生

株式会社杜若園芸 とじゃくえんげい 京都府城陽市

■水生植物のエキスパートが化粧品を開発

国内唯一の水生植物専門の生産販売会社である『株式会社杜若園芸』。社名にある杜若（かきつばた）をはじめ、スイレン、ハス、水草など500種類以上もの水生植物を取扱うエキスパートであり、首相官邸や京都迎賓館の庭園の池等に水生植物を納入・監修した実績も持つ。

同社は事業多角化の一環として、スイレンやハスから抽出したエキス等を原料とする『hasu 化粧水』を2017年7月に発売した。美容液のようなトロミがあり肌にぴったりと吸い付くような感触が特長で、発売直後から主に中高年女性を中心に「使うほどに肌が滑らかになる」と好評を得ているという。

■南都銀行の支援で早期の商品化を実現

岩見悦明社長（54歳）が台湾に行った際、ハスの実を食べる現地の習慣やハスエキスの保湿性の高さを知り、そのエキスを日本で化粧品にできないかと考え約5年前に調査に着手した。

初めての化粧品開発には課題も多く、当初は何年もかかる長期戦を想定していたが、南都銀行のビジネスプラン事業化支援プロジェクト「<ナント>サクセスロード」を2014年に受賞。賞金や同行の様々な支援を受けたことを契機に研究に弾みがつき、そこから3年の開発期間を経て今回の発売に至った。

■『hasu 化粧水』の特長

一年に一度、初夏の3日間だけ開花するスイレンの開花直前のつぼみを手作業で収穫し、同社が発見したオリジナル保湿成分の「ニンファエアコロラド花エキス」を抽出。ハスのめしべが詰まった胎座から抽出される「ハス胎座培養エキス（プラセンタエキス）」や、ハスのつぼみの花びらから抽出される「ハス花エキス」の保湿成分と香り

も配合し、今までにない植物由来の化粧水が完成した。

■ハスを中心としてオンリーワンを目指す

「美容クリームなど化粧品のラインナップを増やし、将来的にはハスを中心とした関連商品を扱う専門店を構え、この化粧品シリーズを基幹商品として店頭販売も行いたい」と今後のビジョンを語る岩見社長。国内唯一の水生植物専門業者としての強みは保ちながら、今後は化粧品製造も新たな事業の柱に育てていきたい考えだ。

同社では知名度向上や顧客とのコミュニケーション推進のために早くからFacebook、Twitter、InstagramなどのSNSやYouTubeを積極的に活用しているが、今回の新商品についてもこまめな情報発信を行い反響が徐々に広がっている。

ニッチ分野で原石を磨き上げることで差別化を図ってきた経営ノウハウを活かし、「ハスといえば杜若園芸」と連想されるオンリーワンの存在を目指したいという。（吉村謙一、太田宜志）



ハス由来の自然で上品な香りも特長の『hasu 化粧水』。販売価格は1本100ml入りで3,780円（税込）。



岩見悦明 社長

株式会社杜若園芸

〒610-0121
京都府城陽市寺田庭井108-1
TEL: 0744-55-7977
FAX: 0744-55-2287
URL: <http://www.tojaku.co.jp/>